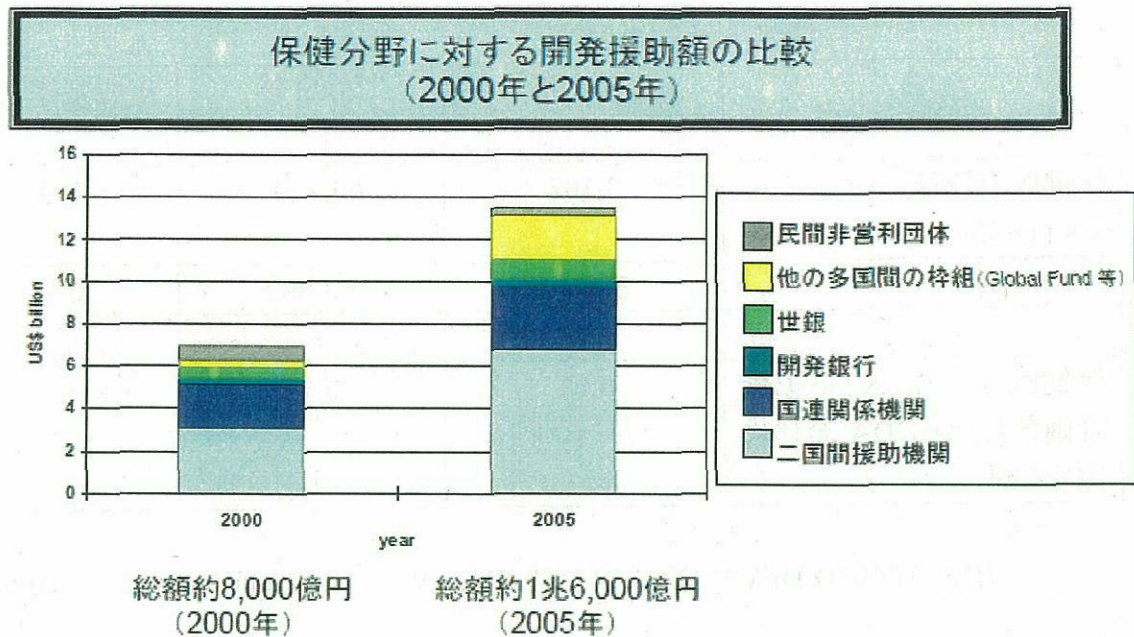


グラフ(1)保健分野に対する開発援助額の比較 (2000年、2005年)



(出典) 世界銀行「The World Bank Strategy for Health, Nutrition, and Population Results」 April 24, 2007 P.82 抜粋

③ 健康が開発・援助の中心課題へ

さらに、2000年に国連総会で採択された Millennium Development Goals (MDGs; ミレニアム開発目標) では、8つの開発目標のうち3つが健康関連(「乳幼児死亡率の削減」「妊産婦の健康の改善」「HIV/AIDS、マラリア、その他の疾病の蔓延防止」)であることは、当該分野が地球規模で取り組む諸課題の中心的存在と位置づけられるようになったことを象徴している。

また、日本政府が提唱し国連に基金を設置している「人間の安全保障」も、同じ流れに位置するものである。これは、国全体の経済的発展よりも、個々人の広義の安全を国際協力・協調の主眼とするもので、多くの関係者の支持を受けている。この中でも、「基礎保健サービスの完全普及」は10の提言のうちの一つに位置づけられ、国際社会全体が取り組むべき課題の中での保健・医療分野の位置づけが一層明確となった。

呼応して、保健・医療セクターの側でも、社会全体との関連を強く意識するようになってきている。例えば WHO においては、経済、政治、環境といった社会的要